

Ⅲ-① 附属から地域へ広がった生涯囲碁サークル

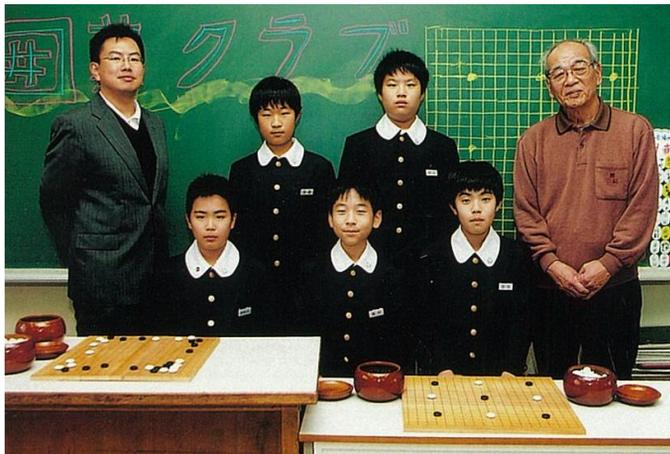
附属坂出小学校の囲碁クラブが地域の囲碁サークルに広がり、地域の小学生から高校生までが囲碁を楽しみ技能を高めながら、人を思いやる心、忍耐力など将来を生き抜く力を学んだ事例である。

附属坂出小学校囲碁クラブの指導者は故端孝義先生(平成30年9月ご逝去)。本校の近くに住む、本校OB教員であった。教員を定年退職後、趣味の囲碁を子供たちに教えようと、本校の囲碁クラブの指導に週1回足を運ばれた。

また、囲碁への興味を高めた子供たちを自宅に集め、囲碁教室を開かれた。退職後、約20年に渡り、大好きな囲碁を通して、子供の教育に携わり、附属坂出学園発の生涯囲碁サークルに尽力された。特に2010年～2012年は、文部科学大臣杯、囲碁団体戦、全国大会で優秀な成績を収めた。

本稿は、端先生の囲碁教室に高校生まで通った子供の保護者が感銘を受け作成した写真集「世界一小さくて世界一熱い 端教室」より、抜粋した写真で紹介する。

坂出市は「囲碁の魅力を活かして子供の未来を拓く」をスローガンに「囲碁サミット」や「津島杯囲碁まつり」など、市を挙げて囲碁の普及活動に取り組んでいる(資料参照)。今後も生涯囲碁サークルで育った子供たちが囲碁の普及活動に寄与することはまちがいない。



附属坂出小学校囲碁クラブ(右端が端先生)



写真集「世界一小さくて 世界一熱い 端教室」より



日々の勉強はここで行われていた



全員で一手指つの団体戦



名誉ある賞をいただき、学校でも校長先生に表彰していただきました。



お迎えの時 いつも子供たちは楽しそうにいい顔をして帰ってきておりました。

小さな1年生の時から先生の背丈を越すようになり
人間形成の最も重要な時期に
端先生に子供たちが会えたことを本当にありがたく思っています。

囲碁を知り一生楽しめる趣味を得ただけではなく
人を思いやる心、忍耐力、豊かな感性など 将来を生き抜く力、
今の社会で最も必要とされている力を
端先生、奥様より しっかり学び取れたと思います。

感謝しております。

これからもずっと子供たちの良き人生の指導者でいて下さい。

..... 保護者一同

端先生から囲碁の最初の入口から、
全国大会で成績を残すことができる棋
力まで教えていただきました。

当時は、囲碁を教えてくれる師匠とし
ての端先生でしたが、今、19歳になっ
て振り返ってみると、先生はただ”囲
碁”を教えてくださいただけではなく囲
碁を通して熱中することの楽しさ、そし
てそこから得られる充実感、達成感、
そして何よりもそうすることの大切さを
教えて下さったと思います。私の場合、
囲碁でしたが、何事でも心から熱中で
できるものに早いうちに出会えたことが
本当に幸せだったと感じております。

今は亡き先生ですが、これからの先
の人生、先生の教えとともに、私は、
生きていきます。

子供は今！ 巣立った子供(現19歳)の声



坂出市市制施行 75 周年事業 囲碁サミット 2017in さかいで
～囲碁の魅力を活かして子どもたちの未来を拓く～

- 1 内 容 全国で囲碁文化の振興に取り組む 13 の自治体の代表が坂出市に集い、「囲碁文化の継承を目指して～囲碁の魅力を活かして子どもたちの未来を拓く～」をテーマに第 10 回囲碁サミットを開催する。
- 2 参加自治体 13自治体
(神奈川県平塚市, 広島県尾道市, 宮崎県日向市, 島根県益田市, 山梨県北杜市, 秋田県大仙市, 新潟県聖籠町, 佐賀県鹿島市, 三重県熊野市, 福岡県みやま市, 岡山県倉敷市, 香川県善通寺市, 香川県坂出市)
- 3 プログラム オープニングセレモニー (坂出高校書道部によるパフォーマンス)
第1部 基調講演「囲碁の魅力を活かして子どもたちの未来を拓く」
講師 吉原 由香里 六段
第2部 パネルディスカッション
司会 万波 奈穂 三段
助言者 日本棋院理事長 團 宏明 ほか
パネリスト 参加13自治体代表
第3部 指導碁・子ども(初心者)入門教室
第4部 交流会(コロンによるサヌカイトコンサート)
- 4 開 催 日 平成29年9月23日(土) 午後1時より
- 5 場 所 坂出グランドホテル(坂出市西大浜北 1-2-33)
- 6 主 催 坂出市, 坂出市教育委員会, 囲碁サミット 2017in さかいで 実行委員会, 一般財団法人自治総合センター
- 7 協 力 日本棋院香川県本部, 日本棋院讃棋支部

※このシンポジウムは全国モーターポート競走施行者協議会からの拠出金を受けて実施するものです。



【担当課】

坂出市 文化振興課
担当者 十河, 松田
TEL 0877-44-5036